

2019年4月入学生用 教職課程説明資料

(工学部・情報学部・生物生命学部)

1. 免許状の種類及び教科

学 科	免許状の種類及び教科
機 械 工 学 科 建 築 学 科 宇 宙 航 空 シ ス テ ム 工 学 科	高等学校教諭一種免許状（工業）
情 報 学 科	高等学校教諭一種免許状（情報）
	高等学校教諭一種免許状（工業）
応 用 微 生 物 工 学 科 応 用 生 命 科 学 科 ナ ノ サ イ エ ン ス 学 科	高等学校教諭一種免許状（理科） 中学校教諭一種免許状（理科）

2. 免許状取得資格

(1) 基礎資格と最低修得単位数

教育職員免許状を取得するための基礎資格は学士の学位を有すること。

その他に、教育職員免許法に定められた「大学における最低修得単位数」の科目として「教職に関する科目」、「教科に関する科目」、「文部科学省令で定める科目」の単位を修得が必要。単位数は次の通り。

免許状の種類	基礎資格	本学における最低修得単位数		
		教育の基礎的理解に関する科目科目等	教科及び教科の指導法に関する科目	文部科学省令で定める科目
高等学校教諭一種免許状 （工業・情報・理科）	学士の学位を有すること	24	35	12
中学校教諭一種免許状 （理科）		28	31	12

(2)教育の基礎的理解に関する科目等

★工業(高校) 認定学科：機械・建築・宇宙・情報

施行規則に定める科目区分等			授業科目	単位数	1年次		2年次		3年次		4年次	
科目	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
					教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。) 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。) 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	10	◎	○			
の道徳、相談等及び総合的な学習の時間に関する科目、教育等	道徳の理論及び指導法 総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法 教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。) 生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法 教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	8	◎			○			○			
関する実践科目に	教育実習 教職実践演習	3 2	○						○	○		
計			23	24								

※◎○は必修科目

★開講時期は、変更になることもあるので、時間割等で十分確認すること

☆◎は4年次に教育実習に行くために3年次までに取得すべき必修科目

★「工業」免許状の取得方法について(特例)

高等学校教諭の工業の普通免許状の授与を受ける場合は、同表に掲げる科目についての単位数の全部又は一部の単位の修得は、当分の間、当該免許状に係る「教科に関する専門的事項」についての同数の単位の修得をもって、これに替えることができる。

(改正免許状施行規則第5条第1項表備考第6号)

ただし、本学では、できる限り上記によらない正規の方法で教員免許状を取得するよう指導しています。

★情報(高校) 認定学科：情報

施行規則に定める科目区分等			授業科目	単位数	1年次		2年次		3年次		4年次	
科目	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
					教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。) 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。) 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	10	◎	○			
の道徳、相談等及び総合的な学習の時間に関する科目、教育等	道徳の理論及び指導法 総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法 教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。) 生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法 教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	8	◎			○			○			
関する実践科目に	教育実習 教職実践演習	3 2	○						○	○		
計			23	24								

※◎○は必修科目

★開講時期は、変更になることもあるので、時間割等で十分確認すること

☆◎は4年次に教育実習に行くために3年次までに取得すべき必修科目

(2)教育の基礎的理解に関する科目等

★理科(高校) 認定学科：ナノ・応微・生命

施行規則に定める科目区分等			授業科目	単位数	1年次		2年次		3年次		4年次	
科目	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
					教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。) 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。) 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	10	◎	○			
の道徳、相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法 総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法 教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。) 生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法 教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	8	◎			○		○				
関する実践科目	教育実習 教職実践演習	3 2	○						○	○		
計			23	24								

※◎○は必修科目

☆開講時期は、変更になることもあるので、時間割等で十分確認すること

☆○は4年次に教育実習に行くために3年次までに取得すべき必修科目

★理科(中学) 認定学科：ナノ・応微・生命

施行規則に定める科目区分等			授業科目	単位数	1年次		2年次		3年次		4年次	
科目	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
					教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。) 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。) 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	10	◎	○			
の道徳、相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法 総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法 教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。) 生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法 教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	10	◎			○		○				
関する実践科目	教育実習 教職実践演習	5 2	○						○	○		
計			27	28								

※◎○は必修科目

☆開講時期は、変更になることもあるので、時間割等で十分確認すること

☆介護等体験7日間「社会福祉施設5日間、盲・聾・養護学校2日間」(中一種免許必修)

☆○は4年次に教育実習に行くために3年次までに取得すべき必修科目

(3) 教科及び教科の指導法に関する科目

★情報学科

「情報」

※ ○印の付いた授業科目は、免許取得上の必修科目である。

科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数	備考
教科及び教科の指導法に関する専門的事項	情報社会・情報倫理	各項目についてそれぞれ1単位以上計35単位	科学技術者倫理	2	
	コンピュータ・情報処理 (実習を含む。)		○ 情報セキュリティ	2	
			○ 基本プログラミング演習	3	
			論理数学	2	
			データ構造とアルゴリズム	2	
			応用プログラミング演習	2	
			コンピュータ基礎	2	
			コンパイラ	2	
			オペレーティングシステム演習	2	
			知能プログラミング演習	2	
論理回路	2				
情報システム (実習を含む。)		○ データベース概論	2		
		○ オブジェクト指向技術	2		
情報通信ネットワーク (実習を含む。)		○ コンピュータネットワーク ネットワークアーキテクチャ	2		
マルチメディア表現・ マルチメディア技術 (実習を含む。)		音響・音声情報処理 I	2		
		画像処理 I	2		
		メディア演習 I	2		
		○ マルチメディア基礎	2		
		コンピュータグラフィックス I	2		
		画像処理 II	2		
		音楽情報処理演習	2		
	コンピュータグラフィックス II	2			
	画像処理 III	2			
情報と職業		○ 情報と職業	2		
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)		○ 情報科教育法 I	2		
		○ 情報科教育法 II	2		

(3) 教科及び教科の指導法に関する科目

★機械工学科
「工業」

※ ○印の付いた授業科目は、免許取得上の必修科目である。

科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数	備考
教科及び教科の指導法に関する科目	工業の関係科目	各項目についてそれぞれ1単位以上計35単位	○ 熱力学Ⅰ	2	
			熱力学Ⅱ	2	
			伝熱工学	2	
			熱機関	2	
			○ 流体力学Ⅰ	2	
			流体力学Ⅱ	2	
			流体力学Ⅲ	2	
			流体機械	2	
			○ 材料力学Ⅰ	2	
			材料力学Ⅱ	2	
			材料力学Ⅲ	2	
			機構学	2	
			○ 機械力学Ⅰ	2	
			機械力学Ⅱ	2	
			○ 機械工作実習	2	
○ 生産加工学Ⅰ	2				
生産加工学Ⅱ	2				
生産システム	2				
生産プロセス工学	2				
○ 機械材料学Ⅰ	2				
機械材料学Ⅱ	2				
○ 制御工学Ⅰ	2				
制御工学Ⅱ	2				
メカトロニクス	2				
○ 機械製図基礎	2				
機械製図応用	2				
CAD基礎	2				
機械設計製図	2				
機械要素設計Ⅰ	2				
機械要素設計Ⅱ	2				
設計工学演習	1				
コンピュータ援用設計	2				
機械図面と加工	2				
機械製作実習	2				
ロボット製作	2				
工業力学Ⅰ	2				
工業力学Ⅱ	2				
○ 機械工学実験	2				
○ 機械工学 세미나	2				
電気工学概論	2				
情報処理応用	2				
自動車工学	2				
○ 工業教育概論	2				
職業指導			○ 職業指導Ⅰ	2	
			○ 職業指導Ⅱ	2	
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）			○ 工業科教育法Ⅰ	2	
			○ 工業科教育法Ⅱ	2	

(3) 教科及び教科の指導法に関する科目

★建築学科
「工業」

※ ○印の付いた授業科目は、免許取得上の必修科目である。

科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数	備考
教科及び教科の指導法に関する科目	工業の関係科目	各項目についてそれぞれ1単位以上計35単位	○ 建築構造学	2	
			建築防災	2	
			○ 鉄筋コンクリート構造Ⅰ	2	
			鉄筋コンクリート構造Ⅱ	2	
			○ 鋼構造Ⅰ	2	
			鋼構造Ⅱ	2	
			○ 建築材料	2	
			○ 建築施工	2	
			建築施工管理	2	
			○ 地域・都市計画	2	
			○ 建築計画Ⅰ	2	
			建築計画Ⅱ	2	
			○ 建築環境工学Ⅰ	2	
			建築環境工学Ⅱ	2	
			○ 建築設備Ⅰ	2	
			建築設備Ⅱ	2	
			建築設備設計	2	
			○ 建築史Ⅰ	2	
			○ 建築史Ⅱ	2	
			デザイン実習Ⅰ	1	
			デザイン実習Ⅱ	1	
			デザイン実習Ⅲ	1	
			建築構造設計	2	
			○ 静定構造力学	2	
			○ 材料力学	2	
			○ 不静定構造力学	2	
			○ 建築製図Ⅰ	1	
			○ 建築設計Ⅰ	2	
			○ 建築製図Ⅱ	1	
			○ 建築設計Ⅱ	2	
			○ 建築製図Ⅲ	1	
			○ 建築設計Ⅲ	2	
			○ 建築設計Ⅳ	2	
			地域計画設計	3	
			建築意匠設計	2	
			建築構造実験	2	
			建築積算	2	
			建築測量	2	
			○ 建築法規	2	
			情報処理論	2	
			建築CAD実習Ⅰ	1	
			建築CAD実習Ⅱ	1	
			○ アーキワークⅠ	1	
			○ アーキワークⅡ	1	
			○ アーキワークⅢ	2	
			○ アーキワークⅣ	2	
			○ 工業教育概論	2	
	職業指導		○ 職業指導Ⅰ	2	
			○ 職業指導Ⅱ	2	
	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）		○ 工業科教育法Ⅰ	2	
			○ 工業科教育法Ⅱ	2	

(3) 教科及び教科の指導法に関する科目

★宇宙航空システム工学科
「工業」

※ ○印の付いた授業科目は、免許取得上の必修科目である。

科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数	備考
教科及び教科の指導法に関する科目	工業の関係科目	各項目についてそれぞれ1単位以上計35単位	○ 航空宇宙材料学	2	
			○ 材料力学Ⅰ	2	
			材料力学Ⅱ	2	
			構造力学	2	
			○ 基礎流れ学	2	
			航空流体力学Ⅰ	2	
			航空流体力学Ⅱ	2	
			高速空気力学	2	
			○ 基礎熱力学	2	
			応用熱力学	2	
			伝熱学	2	
			航空推進工学	2	
			宇宙推進工学	2	
			航空機力学Ⅰ	2	
			航空機力学Ⅱ	2	
			特殊航空機概論	2	
			誘導制御Ⅰ	2	
			誘導制御Ⅱ	2	
			航空宇宙機誘導制御	2	
			宇宙システム工学	2	
			航空宇宙工学基礎・演習	2	
			航空宇宙工学・演習Ⅰ	2	
			航空宇宙工学・演習Ⅱ	2	
			航空宇宙工学・演習Ⅲ	2	
			航空機整備・実習	2	
			航空機性能運動・実習Ⅰ	2	
			航空機性能運動・実習Ⅱ	2	
			○ 基礎製図	2	
			設計製図Ⅰ	2	
			設計製図Ⅱ	2	
			航空宇宙機設計製図	2	
			○ 航空宇宙工学・実験Ⅰ	2	
			○ 航空宇宙工学・実験Ⅱ	2	
			航空宇宙工学概論	2	
			○ 力学Ⅰ	2	
			○ 力学Ⅱ	2	
			力と振動	2	
			情報基礎システムⅠ	2	
			情報基礎システムⅡ	2	
			情報応用システムⅠ	2	
			情報応用システムⅡ	2	
			○ 機械工学大意	2	
			○ 計測工学通論	2	
			○ 工業教育概論	2	
	職業指導		○ 職業指導Ⅰ	2	
			○ 職業指導Ⅱ	2	
	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）		○ 工業科教育法Ⅰ	2	
			○ 工業科教育法Ⅱ	2	

(3) 教科及び教科の指導法に関する科目

★ナノサイエンス学科
「理科」

※ ○印の付いた授業科目は、免許取得上の必修科目である。

科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数	備考
教科及び教科の指導法に関する科目	物理学	各項目についてそれぞれ1単位以上 高35単位 中31単位	○ 基礎物理学 物理学	2 2	
	物理学実験 (コンピュータ活用を含む。)		○ 物理学実験	2	☆
	化学		○ 化学Ⅰ	2	
			○ 化学Ⅱ	2	
			無機材料科学	2	
			材料組織学	2	
			分子デザイン学	2	
			機能性高分子科学	2	
			環境物質科学	2	
			プロセス工学	2	
			○ 基礎物理化学	2	
			○ 物理化学	2	
	○ 基礎分析化学		2		
○ 分析化学	2				
○ 基礎無機化学	2				
○ 無機化学	2				
○ 基礎有機化学	2				
○ 有機化学	2				
分子反応論	2				
高分子科学	2				
化学実験 (コンピュータ活用を含む。)	○ 先端化学実習Ⅰ	2			
	○ 先端化学実習Ⅱ	2			
生物学	○ 先端化学実習Ⅲ	2			
	○ 化学実験操作法	1			
	○ 基礎環境生物科学	2			
	環境生物科学	2			
生物学実験 (コンピュータ活用を含む。)	分子生物学Ⅰ	2			
	分子生物学Ⅱ	2			
地学	○ 環境生物科学実験	1			
	○ 地学	2			
地学実験 (コンピュータ活用を含む。)	○ 地学実験	2	☆		
	○ 理科教育法Ⅰ	2			
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	○ 理科教育法Ⅱ	2			
	○ 理科教育法Ⅲ	2	☆		
	○ 理科教育法Ⅳ	2	☆		

☆「物理学実験」、「地学実験」、「理科教育法Ⅲ・Ⅳ」については、高一種免許取得のみ
の場合は、選択科目です。

(3) 教科及び教科の指導法に関する科目

★応用微生物工学科
「理科」

※ ○印の付いた授業科目は、免許取得上の必修科目である。

科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数	備考
教科及び教科に関する指導法に関する科目	物理学	各項目についてそれぞれ1単位以上 高35単位 中31単位	○ 基礎物理学 物理学	2 2	
	物理学実験 (コンピュータ活用を含む。)		○ 物理学実験	2	☆
	化学		○ 化学Ⅰ ○ 化学Ⅱ ○ 生物化学Ⅰ 生物化学Ⅱ ○ 分析化学 生体物質化学Ⅰ 生体物質化学Ⅱ 生物物理化学 ○ 有機化学Ⅰ ○ 有機化学Ⅱ 酵素学 発酵化学	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
	化学実験 (コンピュータ活用を含む。)		○ 生物化学実験 ○ 分析化学実験	2 2	
	生物学		○ 応用微生物学Ⅰ 応用微生物学Ⅱ 微生物利用学 ○ 生物資源環境工学 生物反応工学 分子遺伝学 細胞生物学 応用分子生物学 遺伝子工学 ○ 微生物遺伝学 ○ 基礎生物学Ⅰ バイオテクノロジー総論Ⅰ バイオテクノロジー総論Ⅱ	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
	生物学実験 (コンピュータ活用を含む。)		○ 応用微生物学実験 ○ 微生物遺伝学実験	4 2	
	地学		○ 地学	2	
	地学実験 (コンピュータ活用を含む。)		○ 地学実験	2	☆
	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)		○ 理科教育法Ⅰ ○ 理科教育法Ⅱ ○ 理科教育法Ⅲ ○ 理科教育法Ⅳ	2 2 2 2	☆ ☆ ☆ ☆

☆「物理学実験」、「地学実験」、「理科教育法Ⅲ・Ⅳ」については、高一種免許取得のみ
の場合は、選択科目です。

(3) 教科及び教科の指導法に関する科目

★応用生命科学科
「理科」

※ ○印の付いた授業科目は、免許取得上の必修科目である。

科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数	備考
教科及び教科の指導法に関する事項	物理学	各項目についてそれぞれ1単位以上 高35単位 中31単位	○ 基礎物理学 物理学	2 2	
	物理学実験 (コンピュータ活用を含む。)		○ 物理学実験	2	☆
	化学		○ 化学Ⅰ ○ 化学Ⅱ 化学Ⅰ演習 化学Ⅱ演習 ○ 基礎生命科学Ⅰ (有機化学) ○ 基礎生命科学Ⅱ (物理化学) ○ 分析化学 ○ 生化学Ⅰ ○ 生化学Ⅱ 生体高分子科学	2 2 1 1 4 2 2 2 2 2	
	化学実験 (コンピュータ活用を含む。)		○ 生命科学基礎実験 ○ 生命情報科学実験 ○ 生命環境科学実験	2 2 2	
	生物学		○ 分子生物学 遺伝子科学 生体情報学 生体システム論 ○ 細胞工学 細胞培養工学 代謝工学 細胞機能学 ○ 基礎生命科学Ⅲ (生物学) 自然共生人類学 生理活性物質	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
	生物学実験 (コンピュータ活用を含む。)		○ 医用生体工学実験 ○ 細胞工学実験	2 2	
	地学		○ 地学	2	
	地学実験 (コンピュータ活用を含む。)		○ 地学実験	2	☆
	各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)		○ 理科教育法Ⅰ ○ 理科教育法Ⅱ ○ 理科教育法Ⅲ ○ 理科教育法Ⅳ	2 2 2 2	☆ ☆

☆「物理学実験」、「地学実験」、「理科教育法Ⅲ・Ⅳ」については、高一種免許取得のみ
の場合は、選択科目です。

(4) 文部科学省令で定める科目

文部科学省令で定める科目	最低修得単位数	本学の授業科目	単位数	備 考
日本国憲法	2	◎日本国憲法	2	必修
体育	2	◎健康スポーツ教育Ⅰ	1	これら2科目より1科目選択・必修
		◎健康スポーツ教育Ⅱ	1	
		◎健康科学概論	2	必修
外国語コミュニケーション	2	◎イングリッシュコミュニケーションⅢ	2	必修
		◎イングリッシュコミュニケーションⅣ	2	
情報機器の操作	2	◎情報処理基礎	2	必修
計	8	計	11	

2021-2022 年度 教育実習に関する日程（予定）

	時 期	内 容	備 考
2 0 2 1 年	3月中旬 ～4月中旬	履修カルテの入力(2年生の時の自己評価の入力)	履修カルテの入力
	6月下旬	第1回教育実習説明会 ・レポート配布	
	7月上旬	レポート提出期限	
	7月上旬	第2回教育実習説明会 ・教育実習内諾依頼書・回答書配布 ・教育実習履修願配布 ※夏休み期間に教育実習希望校(出身校)に交渉し内諾を得る。	
	9月末	教育実習履修願提出期限 教育実習履修費納入(10,000円)	・本館1階庶務課前証明書発行機にて、履修費を納入し教育実習履修願と一緒に教務課へ提出
	後 期	事前事後指導を履修	時間割を確認し必ず出席すること。 (内容はシラバスにて要確認)
2 0 2 2 年	3月中旬 ～4月中旬	履修カルテの入力(3年生の時の自己評価の入力)	
	4月中旬	第3回教育実習説明会	・教育実習日誌等配布
	4月下旬	教育実習費納入 (通常1週間5,000円、県により相違あり)	
	5月上旬	第9回教育実習事前指導 ・模擬授業 ・教育実習における具体的な注意事項	
	5月下旬 ～6月下旬	教育実習	・9月～10月に実施する学校もある
	6月下旬	第10回教育実習事後指導	
	7月中旬	履修カルテの入力(4年生前半の時の自己評価の入力 最終)	
	後期	教職実践演習を履修	時間割を確認し必ず出席すること。 (内容はシラバスにて要確認)
	11月中旬	教員免許一括申請説明会	
	11月下旬	教員免許一括申請の申請書類等の提出期限	・本館1階庶務課前券売機で証紙を購入し、該当書類に貼付した上で教務課へ提出
	3月卒業式	教員免許状配布	※一括申請手続きした学生のみ

※連絡事項は全てポータルで通知するので、見落としがないように注意すること